

事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和3年3月31日

事業所名 あかしや

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	・感染予防のため、密にならないように工夫しています。	・感染予防に努めながら、活動スペースの確保に努めます。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2	・基準に沿って配置しています。	・職員配置について、引き続き、適切な配置に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2		・トイレや手洗い場の利用について、不都合のないように工夫します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	3		・トイレや手洗い場の利用について、不都合のないように工夫します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1	・支援内容や情報共有について、振り返りを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		・いただいたご意見や課題について、職員間で検討し、今後も改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		・ホームページの改善について、検討していきます。

	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	・第三者評価は行っていません。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	・園内外の研修に、積極的に取り組んでいます。	・引き続き、職員の資質向上のための研修に参加できるよう、職場環境の確保に努めます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	・KIDSを使用しています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	・各項目について、具体的な支援内容を設定し、作成しています。	・引き続き、具体的な支援内容について、適切に設定できるように取り組みます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	・計画に沿った支援に努めています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	・子どもに合わせた活動となるよう、工夫しています。	・引き続き、子どもに合わせた活動ができるよう、工夫に努めます。

⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3	1		・集団活動については、感染予防に努め、活動の方法について、引き続き検討していきます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0		
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	・行った支援について職員間で共有し、振り返りを行っています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2	・必要に応じて、目標の見直しについて適切に判断できるよう努めています。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	・子どもの状況を理解している職員が参加しています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	・必要に応じて連携を行っています。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	・必要に応じて対応しています。	・保育所等との並行利用に係る情報共有について、充実に努めます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		・安心して就学できるよう、支援内容等の引き継ぎについて、今後も充実に努めます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4		・感染予防につとめ、交流の機会の設定について検討します。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	・代表者が参加しています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	・積極的にコミュニケーションを取り、共通理解に努めています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1		

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	・利用に際し、丁寧な説明に努めています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	・相談等に関して、職員間で共有し、適切な対応に努めています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	・園だよりを配布する等、情報提供に努めています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	・個人情報の取扱いについては、十分に注意しています。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0		

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4		
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	・マニュアルを策定し、掲示しており、訓練も実施しています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	・毎月、訓練を実施しています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0		
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0		
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	・参加した職員より、研修報告を受けています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1	・身体拘束を行う場合は、保護者同意のもと、行います。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。